

一級整備士資格者の現状

平成24年10月9日

全国自動車大学校・整備専門学校協会
(JAMCA)

1

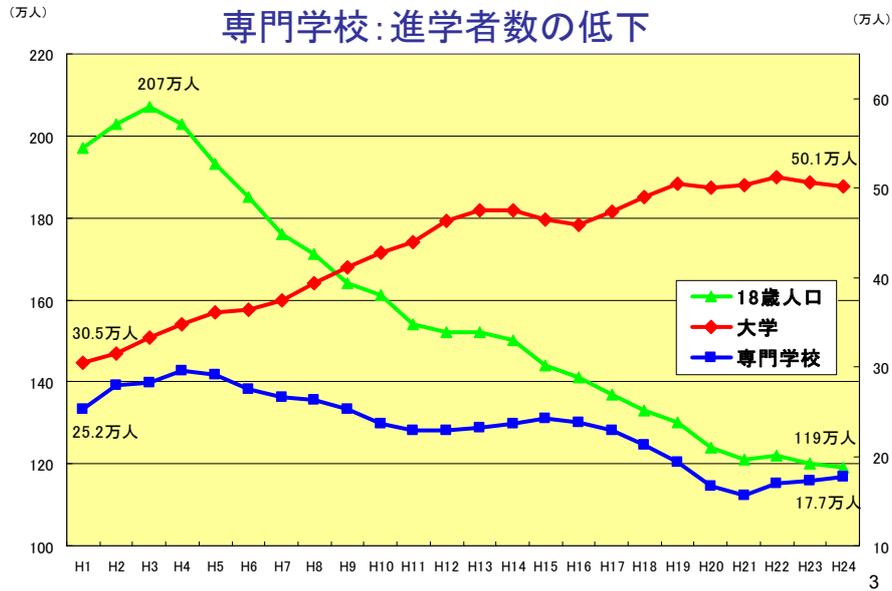
1級整備士の必要性 (国交省メッセージ)

- (1) '07年7月
- ① 的確な故障診断
 - ② 新技術車両の整備
 - ③ コンプライアンスへの対応
- (2) '09年4月 「養成学校やディーラーにお願いし、1級整備士の更なる普及を進める」

2

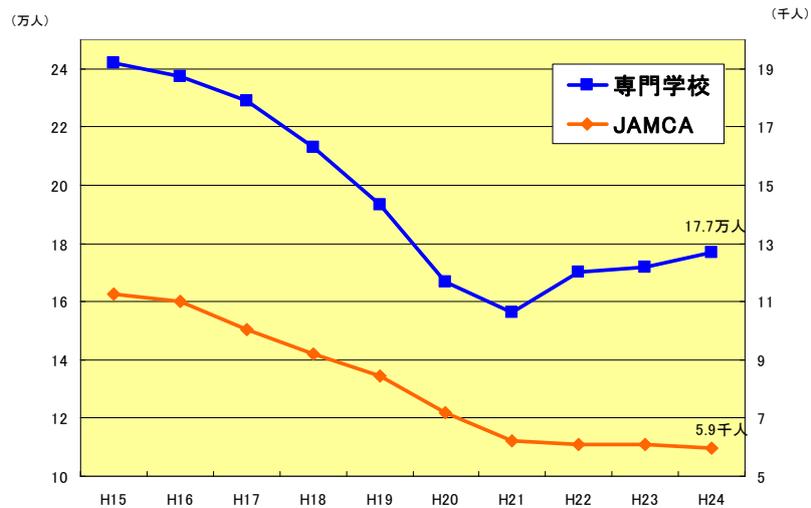
高校生の進路別卒業生数

専門学校:進学者数の低下



入学者数(専門学校VS整備学校)

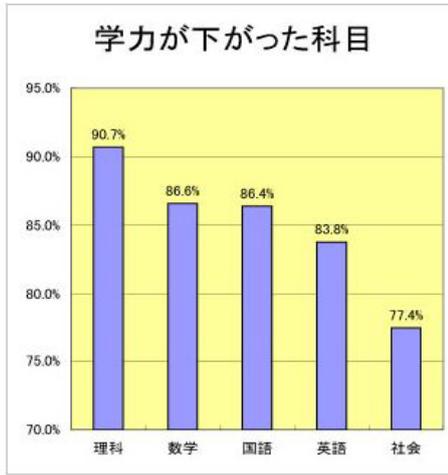
専門学校:直近は増加、整備学校:一段と減少



高校生の基礎学力

(全国334高校ヒアリング結果から)

(11年)		
1	上がった	7 2.1%
2	下がった	279 83.5%
3	変わらない、その他	48 14.4%
334		
(科目別)		
英語	上がった	2 2.7%
	下がった	62 83.8%
	変わらない、その他	10 13.5%
74		
数学	上がった	2 3.0%
	下がった	58 86.6%
	変わらない、その他	7 10.4%
67		
国語	上がった	1 1.7%
	下がった	51 86.4%
	変わらない、その他	7 11.9%
59		
理科	上がった	0 0.0%
	下がった	39 90.7%
	変わらない、その他	4 9.3%
43		
社会	上がった	1 1.6%
	下がった	48 77.4%
	変わらない、その他	13 21.0%
62		

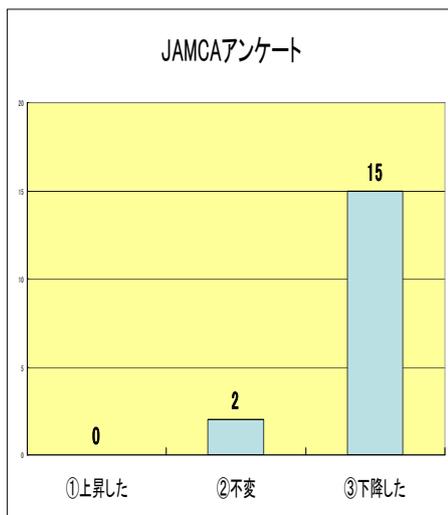


(東進ハイスクールによる調査)

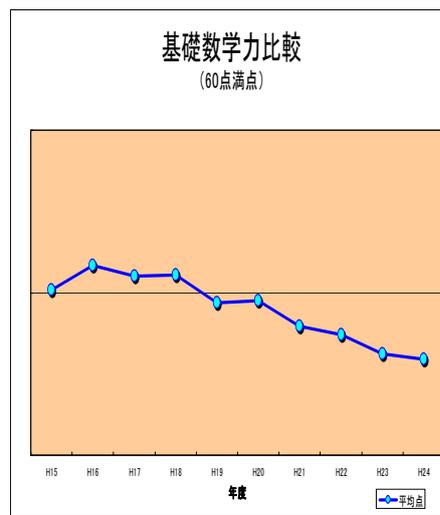
5

入学時の学力

(60点満点)



(JAMCAによる調査)

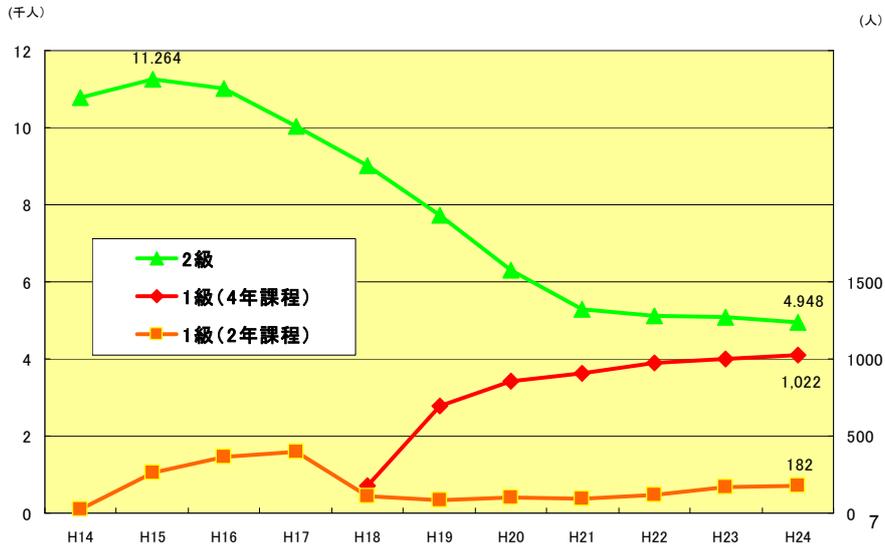


(自動車大学校AIによる調査)

6

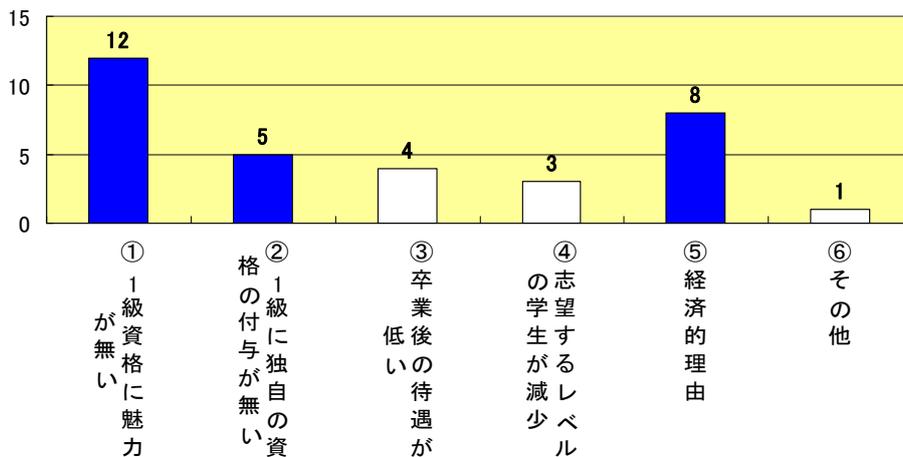
整備学校への入学者数(1級 vs 2級) (JAMCA校)

2級課程は半減。1級課程は伸び悩む



1級整備士の志望者数

(増加が遅い理由)



(JAMCAによる調査) 8

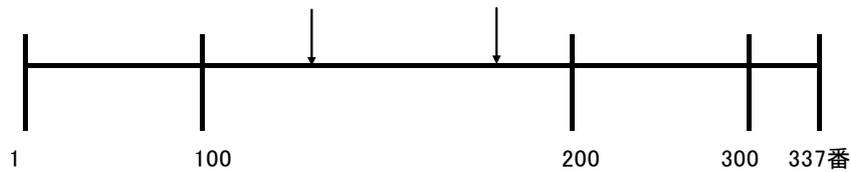
整備学生の学力(1級 vs 2級)

— 2年修了時 —

2級修了時で、既に大差

1級平均

2級平均



(自動車大学校AIによる調査)

9

販売店の動向(1級 vs 2級)

① 求人に差

「出来れば、1級のみ採用したい」との販売店も

② 就職内定率に差(2011年8月時点)

1級:98.0(%) 2級:79.8

③ 給与に差

給与差:28,600円~差額無し

(自動車大学校AIによる調査)

10

就職後の販売店コメント

- 何事にも積極的。早く仕事を覚えて次々と新しい知識や仕事の流れを得ようとする姿勢が見られ大変良い。・・・販売店A
- 発言内容が理路整然とし、作業に対する取り組みにおいても真剣さが伺える。・・・販売店B
- 基礎知識・電気の計算・実技能力など理解度は高い。・・・販売店C

(自動車大学校Aによる調査) 11

就職後の販売店コメント

- 礼儀正しくコミュニケーション能力も高く、しっかりしている・・・販売店D
- 何より「車好き」であることが非常に素晴らしい。ここまで育てて頂きありがとうございました。・・・販売店E

(自動車大学校Aによる調査) 12

まとめ

(1) 学生の能力

- ① 技術: 電気の基礎、故障診断、新技術、HV/EV、問診
- ② ビジネス: 経営・経済学、消費者心理、社会学、商法・簿記会計
- ③ 人間性: 一般常識、コミュニケーション能力、お客様を大切に

13

まとめ

(2) 販売店の評価

- ・ 即戦力
(2級取得後+2年の実習、インターンシップ)
- ・ 電気に強い。サービス技術コンクールの代表
- ・ 営業にも最適
(車に詳しいお客様、車両の高度化、サービスも受注)
- ・ 幹部候補生
(整備士 → 工場長・副店長、店長、本部の幹部・役員)

14

まとめ

(3) 整備学校の課題(a)

<全体>: 入学者の数と質の低下

- ・ 若者人口の減少、高校生の学力低下、4大進学増加
- ・ 若者の車離れ、業界(就職)への不安、学校の厳しい授業・指導



将来の整備品質に懸念

15

まとめ

(3) 整備学校の課題(b)

<1級生>: 見えない1級メリット

- ・ 1級課程の入学者数が伸びない
- ・ 1級資格の合格率が不安定。再挑戦者が少数
- ・ 1級卒の能力に関し、就職先の認識に差(大都市vs地方)
- ・ 1級・2級の採用比率に差(整備業界vsその他)



1級の優位性の確保が必須

16